

政策評価調書(21年度実績)

政策名	生涯を通じた健康づくりの推進		政策の目的等	生活習慣の改善など疾病予防対策と医療提供体制の整備により、県民一人ひとりの「健康寿命」の延伸をめざす。	主管部局名	福祉保健部
	政策コード	II-4			担当課室名	健康対策課

【政策を取り巻く社会経済情勢】

今後の動向	<p>本県は高齢化が急速に進行しており、県民一人ひとりが生涯にわたり健康で自立して暮らすためには、生活習慣病予防や介護予防を通して「健康寿命」を伸ばすことや、加齢によるがんの発生リスクの増加を抑制するため、がんの早期発見、早期治療が重要となっている。</p> <p>また、医療を必要とする人がどこに住んでいても適切な医療サービスを受けられるよう、供給体制の充実が求められている。</p> <p>さらに、今後発生が危惧される強毒性の新型インフルエンザの発生に備えることが、健康管理上重要な課題となっていることから、医療対策の確保と危機管理体制の整備が急務となっている。</p>
-------	---

【政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	評価結果		政策との関連度
		業績評価	主管部局評価	
1	元気に暮らす健康づくりの推進	達成	見直し	◎
2	安心で質の高い医療サービスの提供	達成	拡充	○

【構成する施策に対する意見・提言】

<p>○生涯健康県おおいた21推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児のひとり平均むし歯本数が、全国比較でみて悪い状況にあるため、対策が必要 ・メタボリックシンドローム対策については、医療費適正化対策のみならず、予防的視点が大切ではないか。 ・たばこが健康に悪い影響を及ぼすと言うことは、大衆に認識されてきたと感じる。 ・外食産業に注目した生活習慣病対策は重要な視点である。 ・食に関する生活習慣病対策では、食事を提供する側への知識の普及や環境整備と食べる側への普及啓発を食育に関する取組と連携しながら進めていく必要がある。 <p>○大分県がん対策推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性特有のがん対策や都市部での啓発活動を行っているとのことであるが、がんによる死亡者が多い高齢者や周辺部でのがん対策が必要である。 	<p>○「安心・活力・発展プラン2005」推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の向上だけでなく、要介護者等の満足度も重要 ・産科、小児科の医師不足が深刻であるため、新たな課題として位置付けるべき。
--	--